

未来への協働

2022年1月12日(水)
第333号

発行所 未来への協働
ホームページ
https://kyodimirai.org
〒577-0023
大阪府東大阪市荒本2丁目14-5
電話/FAX
(06) 4306-3512
郵便振替
00940-8-213061
Eメール
mirai_newsroom@yahoo.co.jp
●発行人 山本 康

●第2・4水曜日発行
●200円(本体182円)
●定期購読 購読料(送料別)
1月 400円(送料188円)
半年 2,400円(送料1,128円)
1年 4,800円(送料2,256円)

今号の主な内容

- 2面 弾圧には絶対屈しない
- 3面 南西諸島軍事化 那覇でシンポ
- 4面 日常的な暴力と基地被害
- 5面 人生を奪う理不尽を知れ
- 6面 共同の場が紡いだ物語り

紙面へのご意見、感想を
上記発行所までお寄せください。FAXでも送れます(電話番号と同じ)。詩、短歌、川柳、写真なども募集しています。

訪問介護ヘルパーとして働いている。利用者さんに「あけましておめでとう」という年始のあいさつが、とても言いづらいと

森友改ざん 責任取らせるまで終らない 佐川を証人席に！全文書の開示を

「ふざけるな」。このひどい言葉が、世の中を揺さぶっている。昨年12月15日、国は、近畿財務局職員だった赤木俊夫さんを死に追いやる責任を問う裁判を、「認諾」という手段で強制的に終了させた。それについて妻の赤木雅子さんが満身の怒りを込めて発した言葉だ。

真さんは、「認諾」という初めて聞くような方法で裁判終結をはかるとは、それほど隠したい真実があるという。世論は厳しい目を向けている。公判は2月9日に開かれる。もうひとつは、財務省10月提訴した。第1回公判は1月18日に開かれる。人に達した。(新田)

決定の取り消しを求め「裁判。雅子さんは、くはない。それを切り開くのは「世論」だと雅子さんの代理人弁護士・生越照幸さんはいう。「しるべき人になるべき責任を取らせるまで終わらない」(木村真さん)。

近年、年末年始に家族が訪れない、家族が迎えにこないケースが増えている。従来は「お正月くらいはいいしょ」と気を使う人が少なくはなかった。社会の貧困化や「無縁社会」の深刻さが介護の現場から見えてくる▼



同23日夕、大阪の近畿財務局前に「森友問題を考える会」のよびかけで約100人が集まった(写真上)。怒りの声をあげた。「ふざけるな！税金1億で疑惑をもみ消し」「赤木さんの死を無駄にしないで」のボードなどをかかげた。東京の財務省前でも同時行動が取り組まれた。



昨年12月13日、関西地区生コン支部の加茂生コン事件の判決が大阪高裁であった。判決は、びが広がった(写真左)。

高裁判決では、組合加入直後に就労証明書を提出しないのは不当な利益取り扱いであると認められた。また交渉中、会社側担当者はいきなり体調を崩し、救急車を呼ぶ事態となったことについて、組合側は仮病

を疑い、激しい言葉を会社側を非難したことが争点となっていたが、高裁判決は、担当者の対応の方に原因があるのであって、組合が仮病を疑ったとしても無理はないとした。会社が本場に廃業するのかがどうかを確認するための組合による監視活動は正当とした。

組合活動として当然 加茂生コン事件 大阪高裁で逆転

「原判決破棄、執行委員に罰金30万円、組合員は無罪」。支援の間に喜ばが広がった(写真左)。

「原判決破棄、執行委員に罰金30万円、組合員は無罪」。支援の間に喜ばが広がった(写真左)。

「原判決破棄、執行委員に罰金30万円、組合員は無罪」。支援の間に喜ばが広がった(写真左)。

「原判決破棄、執行委員に罰金30万円、組合員は無罪」。支援の間に喜ばが広がった(写真左)。

「原判決破棄、執行委員に罰金30万円、組合員は無罪」。支援の間に喜ばが広がった(写真左)。

関生弾圧支援

弾圧には絶対屈しない 全国で同時アクション



支部の湯川祐司・委員長が「弾圧には絶対屈しない。たたかいを継続して次世代に運動を残し、産別労働運動を強化・増大していく」と、力強く決意と支援へのお礼を述べた。れいわ・大石あきこ衆院議員の連帯メッセージ(NHK「日曜討論」のため上京中)が読み上げられ、川口真由美さんが歌で激励した。

「弾圧をはねのける! 全国同時アクション」が、札幌、東京、名古屋、大阪、岡山、福岡などで行われた(昨年12月12日)。大阪堀江公園には約700人が集まった(写真上)。

主催者を代表し、労働組合弾圧を許さない会・兵庫実行委員会の岡崎進さん(写真下)、「竹信三恵子さん(ジャーナリスト)を招き、兵庫でも集会(11月25日)を開いた」と報告した。連帯ユニオン関西生コ

元日に府警抗議 400人が参加

不当な介入をしている。今なお弾圧は続いている」と弾劾した。

1月1日午前10時、大阪府警本部前に労働組合や市民団体など400人の仲間が集結した。連帯ユニオン関西支部の粘り強いたたかいを支える全国の労働組合員の連帯が広がり、さらに大きな反響を準備しつつある。府警本部前で開かれた集会では、関西生コ



大阪府警前で抗議(1月1日)

昨年3月、参議院文教科学委員会、自民議員や馬場伸幸議員(日本維新の会)が質問。4月27日、政府は、「従軍慰安婦」「強制連行」という用語を不適切とする見解を閣議決定し、教科書への反映を求めた。この問題をめぐって琉球大学名誉教授の高嶋伸欣さんが、大阪市内で開かれた教科書全国集会で講演した(昨年12月18日)。以下は講演要旨(見出し/文責は本紙編集委員会)。

「慰安婦」記述に注記を新設。次のように加筆して承認を獲得した。「従来は政府の談話なども含めてこのように表現されることも多かったが、実態を反映していない用語であるという意見もある。現在日本政府は『慰安婦』という語を用いることが適切であるとしている」。

「従軍慰安婦」「強制連行」

closeup 教科書記述めぐり攻防

第一学習社は、「高等学校改訂版世界史A」「高等学校歴史総合」で、朝鮮人労働者の「強制連行」本文記述に注記の記号を付けた。注記に「強制連行」とするのは不適切とする閣議決定をしたが、実質的には強制連行に当たる事例も多かったとする研究もある」と入れ、教科書への

政治的介入の事実を生徒自身が読み取れる内容にした。このような結果を受けて、産経新聞(昨年9月21日付)はトップ記事で、「教科書に『従軍慰安婦』残る 検定限界、引用で通過」と敗北を認めた。

原発ない社会できる

田中優子さん

さようなら原発 1000人集会で法政大名誉教授で江戸社会研究者の田中優子さんが「原発のない明日」について話した(12月26日、伊丹市内)。

田中さんは「江戸は、大航海時代から当時のグローバルゼーションに対応した時代だった。周辺諸国やヨーロッパとの通商を行ない、270年も

の間、内戦も国外戦争も回避。循環システムを整備し人糞、草肥、ごみ塵芥、油粕、捨てるものな灯油、ろうそくの使い回し。衣類も洗い張り、仕立て直し。職人による物づくり。江戸時代に原発はなかったが、豊かな生産、経済と持続可能社会を作っていた。経済とは経世済民、一部が儲けることではない」と、原発がない社会への展望を話した。

発行者らの抵抗

しかし、政府見解の押し付けに「言いなりになるものか」と気概を示した発行者もある。清水書院は、「歴史総論」の「いわゆる従軍

OPINION

大阪府が読売新聞と提携 ただちに協定の解消を

と云われれば「萎縮しないでしょう」というほかはない」とその態度は

読売新聞大阪本社と大阪府は昨年12月27日、情報発信など8分野で連携協定を進める「包括連携協定」を結んだ。包括連携協定とは、自治体と民間企業が「相互の資源の有効活用」を目的とするもの。しかし、報道機関が公権力と領域分野を横断して「包括的」な協力関係を結ぶのは異常だ。連携の主な取り組みのなかには、「万博の開催

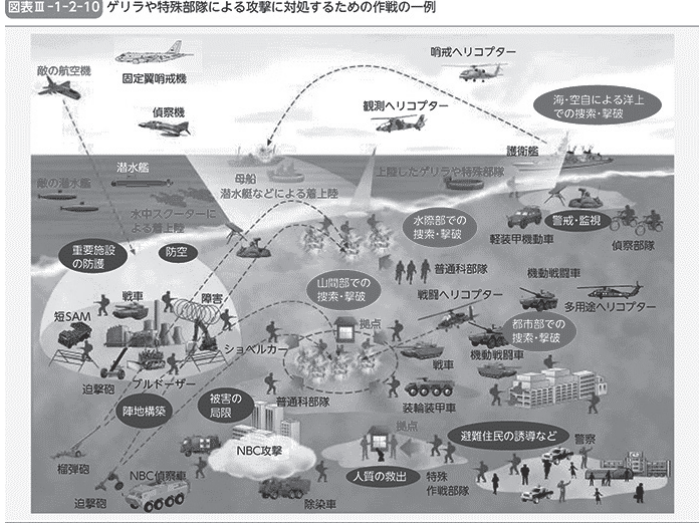
1970年代、読売新聞大阪支社には「反差別、反権力」の気風があった。今回の協定に憤りを感じているマスコミ労働者は多くいるはずだ。国側は「萎縮しないか」と言われれば「萎縮しないでしょう」というほかはない」とその態度は

政政「日本維新の会」の副代表が首長を務める西日本最大の自治体、大阪府がこうした協定を結ぶことの影響は看過できない。(坂口竜一)

清水書院は、「歴史総論」の「いわゆる従軍慰安婦」や「強制連行」をなくそうとしても、過去の日本の侵略戦争の事実を消すことはできない。(佐野裕子)

日米中にとって有益ではない

南西諸島の軍事化 山城さんら那覇でシンポジウム



上の作戦図は2019年の防衛白書に掲載されたもの。政府は南西諸島が戦場になることを想定してミサイル配備を進めている。

沖縄を戦場にしない

那覇市内で「台湾有事」と自衛隊の「南西シフト」を考えるシンポジウムが開かれた(昨年12月19日)。沖縄平和センター顧問の山城博治さんが「沖縄を戦場にしない県民の会」立ち上げを提案した。

馬毛島、奄美、沖縄島、宮古、石垣の南西諸島に自衛隊の軍事基地が建設されている。迎撃、じつは攻撃と表裏一体のミサイル

中国と平和的交流を

シンポジウムでは、「台湾有事」は歴史的な背景や経済的な関係などから、米中両国、日本にとっても有益ではないと懷疑

市長選挙 岸本ようへいさん 必勝へ

16日告示 23日投開票

名護市長選が1月16日 後援会長は前・名護市長 告示、1月23日に投開票 の稲嶺進さん。岸本ようへいさんは、復帰時に生



岸本ようへいさん

「父・岸本建男(元名護市長)が7条 件を出し、新 基地受け入れ の苦渋の選択 をしました。 しかし国は、 古新基地建設、オスプレ

条件はなかったかのよう に民意を無視し新基地建設を強引に進めていま す。このままではいけな い!私は新基地建設を認めない立場です。名護のことは名護市民が決める」と立候補の思いを述べ、子育て支援や、誰ひとり取り残さない市政、地域経済の活性化などを訴えています。

今年「復帰50年」。岸本ようへい後援会は、「基地の整理縮小どころか、依然70%以上の米軍基地が沖縄に集中する。辺野古新基地建設、オスプレ

的意見が出された。安倍元首相は「台湾有事」を強調しているが、石垣、宮古など南西諸島に自衛隊配備を進めれば、偶発的な衝突が起きた場合にむしる標的になる。

山城さんは、自衛隊配備について「急患輸送や災害救助とは分けて考えるべき。南西諸島を再び戦場にする断じて許せない」という行動が必要と、県民の会への賛同人を募り立ち上げたいと話した。



カヌーでK8護岸をめざす (撮影/筆者)

午後は辺野古 集落内へきた 噂の新しいお店、 Heaven Heaven にて鳥野菜の力 翌日の海上行動は午前

の自衛隊配備は進行中だが、止めなければならぬ いし、まだ止められる。政 府は、国産トマホークを 開発している報道もある。 「日米軍需産業が、国防や防衛の予算を獲得す るキャンペーンの側面も あるが、戦争につながる 可能性もある。中国との 平和的な交流が大事、台 湾有事を起すことはない

「11時からだったため、 11時からお昼の飛行機で帰 ってきたけど、必ずまた、 辺野古に戻ってくる。諦め ずに諦めず、この蒼い 海に出続けることを誓っ た。」

2月には辺野古ぶるー の仲間、海保に暴行され た千葉和夫さんの報告会 を神戸(2月12日、6時 神戸市勤労会館)、大 阪(13日、2時 P L P 会館)で開く。もっと辺野 古の状況をたくさんの人 たちに知ってほしいから、 ぜひ皆さんにもご協力を お願したい。

「いわゆる敵基地攻撃能 力をはじめ、あらゆる選 択肢を排除することなく、 しっかり議論していか」

「憲法改悪ありき」の憲 法審査会は認められな い。私たちは、二度と沖縄 戦を繰り返さない、戦争 を起こさせない取り組み を強める。(高崎庄二)

水千葉さん裁判への支援 先 郵便振替 01700 7-66142 加入者 名/へり基地反対協議会 通信欄に「辺野古ぶるー千 葉さん裁判のために」と記 入してください。

米軍の日常的な暴力と基地被害

高里鈴代さん「被害者を忘れない」

「軍隊と性暴力 沖縄 どん進められている。毎日でフラワーデモを続ける意味」と題する高里鈴代さん(基地・軍隊を許さない行動する女たちの会共同代表)の講演会を視聴した。(昨年11月23日、日本軍「慰安婦」問題・関西ネットワークが、国連「女性に対する暴力撤廃の国際デー」にあたって企画・主催)

高里さんが最初に言及した95年の沖縄米兵少女暴行事件は、私もよく覚えている。当時、沖縄県民大会に連帯して東京でも数万の大会が日米安保体制に抗議の声を上げた。事件を契機に、日米政府によってSACO(沖縄に関する特別行動委員会)が設置され、「沖縄の負担を軽減すること」で日米安保を強化する」とされた。しかし、高里さんは、SACOが本当に沖縄の負担を軽減したのかどうか、厳密な検証が必要だと言う。米軍絡みの事件事故はその後も減っておらず、辺野古新基地建設の強行など日米安保の強化策だけがどん

どん進められている。毎年81歳になるけど、「どこまで続くこの道ぞ」という感じで」と高里さん。2019年3月、4件の強姦事件裁判で立て続けに無罪判決が出たことに抗議するフラワーデモが同年8月から始めた。沈黙する権利もあっていい、だけど口に出さないと知人女性が「あの頃で支える、そういう思いでフラワーデモを続けている」「被害者のことを忘れない」というのも彼女が大切にしているテーマで、沖縄で亡くなった元従軍慰安婦のペ・ポンギさんのことや、戦後沖縄の事件事故を国会図書館にまで出かけて丹念に掘り起していることも話された。

「本土の方には、なにも沖縄のことやったださ」というのではなく、ご自分の地域のことについて取り組むことが沖縄につながっていると思っています」「米軍基地を沖縄が喜んで受け入れていくわけではない。米軍に土地を提供している本土に、この矛盾、このひどさを、もっとみんなに知ってもらいたいと思いが胸に刺さった。若い頃に職場でレイプされたという知人女性が「あの頃はセクハラという言葉もなくて隙を見せた自分が悪かったと思ってたんだよ」と語ってくれたのを思い出した。性暴力を許容する日本の法体系が、沖縄で被害を訴えてもほとんど受け付けてもらえない現実を反映している

という高里さんの指摘にうなずく一方、この世界の暴力性に頭がくらくらしてきた。「凛とした声で米軍の犯罪を弾劾し、これを擁護する日本政府を批判する一方、被害者に寄り添い川田文子さんと仲間との交流を語る時ははじけるような笑顔から、彼女の強くて優しい、温かい人柄が伝わってきたのが印象的だった。(掛川)

自衛隊の活動が大きく変わってきています。岸田首相は総裁選から転換し「敵基地攻撃能力保有」を公言し、「9条に自衛隊明記」の4項目を含め安倍改憲からさらに一線を超えるような発言を繰り返しています。昨年6月に自衛隊は「台湾有事」を想定した実弾による日米合同演習(オリエントシールド)が、9月から10月には陸上自衛隊を総動員し、九州一帯で軍事物資の輸送訓練が行なわれました。さらに12月、伊丹駐屯地で「ヤマサクラ81」という日米合同指揮所演習を実施しました。恐ろしい事態、実際に戦争を想定していると言っても過言でないのでは。経済の行き詰まりを、戦争で乗り

「私、本当に怒ってます」

在沖米軍による性暴力

98年	米軍属 20代女性への強姦窃盗
00年	14歳少女に強制わいせつ
01年	空軍兵士 20代女性を強姦
02年	海兵隊少佐 強制わいせつ器物損壊
04年	米軍属 20代女性への強姦
05年	10歳少女に強制わいせつ
08年	14歳少女に性暴力 38歳海兵隊員
12年	2海軍兵士が集団強姦
16年	海軍兵士準強姦
16年	20歳女性強姦殺害、死体遺棄
19年	女性殺害、加害米兵自殺

自衛隊の活動が大きく変わってきています。岸田首相は総裁選から転換し「敵基地攻撃能力保有」を公言し、「9条に自衛隊明記」の4項目を含め安倍改憲からさらに一線を超えるような発言を繰り返しています。昨年6月に自衛隊は「台湾有事」を想定した実弾による日米合同演習(オリエントシールド)が、9月から10月には陸上自衛隊を総動員し、九州一帯で軍事物資の輸送訓練が行なわれました。さらに12月、伊丹駐屯地で「ヤマサクラ81」という日米合同指揮所演習を実施しました。恐ろしい事態、実際に戦争を想定していると言っても過言でないのでは。経済の行き詰まりを、戦争で乗り

切ろうなどとさせてはなりません。裁判官、しっかりして憲法を遵守し、司法の独立にもとづく裁判官もはっきりしてほしい。12月9日には、「日の丸・君が代」訴訟で大阪高裁判決が、地裁の不当な判決を覆し勝訴できました。これらの裁判はたくさん

切ろうなどとさせてはなりません。裁判官、しっかりして憲法を遵守し、司法の独立にもとづく裁判官もはっきりしてほしい。12月9日には、「日の丸・君が代」訴訟で大阪高裁判決が、地裁の不当な判決を覆し勝訴できました。これらの裁判はたくさん

国軍、「聖夜の虐殺」

寒波のなかミャンマー支援



年末の寒波のなか、ミャンマー市民支援集会が神戸で開かれた(12月26日、みなとのもり公園)。この日は東京、佐賀、神戸での全国統一行動だった。参加者60人ほど、40人余がミャンマーの若者たち、20人ほどが

「満蒙開拓」の体験

「満蒙開拓」の体験

声 戦争アカン！ 憲法を大切に

声 戦争アカン！ 憲法を大切に

事件
桜井さん
布川

人生を奪う理不尽を知れ 狭山再審へ関西でキャラバン



青木恵子さん(左)と桜井昌司さん

狭山事件はなぜ、なかなか展覧を開けないのか。裁判所、検察庁に責任がある。裁判長は、誰にも明らかな無実である事実を無視し、平然と有罪判決を下している。私たちがえん罪になった昭和40年代は、検察、警察がウソをいうとは誰も思わなかった。新聞が間違っていた。報道するのは誰も思っていなかった。今は、少しは検察・警察が怪しいと思う人が増えたけど。私は29年間刑務所に。今思えば、意義ある人生だ。刑務所職員は「受刑者はウソつき、信用してはいけない」と教育されている。私たちが何を信じていても信用されない。外国人を苛める奴が出世する世界だ。

「狭山再審を求める関西キャラバン(21年度)」スタート集会が、えん罪・布川事件国賠勝利報告会として開かれ、布川事件えん罪被害者の桜井昌司さん、東住吉事件のえん罪・青木恵子さん、兵庫県精神医療人権センターの吉田明彦さんが話した(12月11日、神戸市内)。

「国とは一体何か」国とは一体なんですか。私たちが、えん罪被害者にとって国とは検察、警察であり裁判所です。

「国は人生を奪う」演題の「国は人生を奪う」

「国とは一体何か」

「国とは一体何か」

「国とは一体何か」

「国とは一体何か」

「国とは一体何か」

「目」に悪いことをする。狭山事件が進まないのは運動のせいでも、石川義守を守る。悪い奴を懲らさず、弁護団のせいでもしめる。「人は信用しない。裁判官が悪いから。怪しい奴はウソをついて持っている。法務省幹部は、彼ら(世間)は、彼らを信用している。そういう社会がおかしい。狭山事件、部落民だから「何でもする」という差別、50年前はそうだった。部落民の石川さんが怪しい、自白させて犯人にすれば正義となる。50年経って、部落差別はなくなりましただけか? なくなっていない。なぜか。天皇制があるからだ。私も取調べの警察官に言われた、「俺の仕事はお前のような奴を刑務所に入れることだ」「罪を認めてやり直せ」と。

日本はこれでもいいのか

石川さんも同じ。石川さんは根性あるから、「自白」まで1カ月以上がんばる。家族の働き手である六造さんを捕まえるという脅しに、認めるわけ。あいつら、本当に汚い。誰が見てもあきらまらな。えは万年筆が発見された。警察官10数人が捜索し、3回目ようやく発見された。あり得ない。検察、警察官は「真面

日本はこれでもいいのか

石川さんも同じ。石川さんは根性あるから、「自白」まで1カ月以上がんばる。家族の働き手である六造さんを捕まえるという脅しに、認めるわけ。あいつら、本当に汚い。誰が見てもあきらまらな。えは万年筆が発見された。警察官10数人が捜索し、3回目ようやく発見された。あり得ない。検察、警察官は「真面

日本はこれでもいいのか

石川さんも同じ。石川さんは根性あるから、「自白」まで1カ月以上がんばる。家族の働き手である六造さんを捕まえるという脅しに、認めるわけ。あいつら、本当に汚い。誰が見てもあきらまらな。えは万年筆が発見された。警察官10数人が捜索し、3回目ようやく発見された。あり得ない。検察、警察官は「真面



水俣名物のチャンポン

道に天草からやってきた漁師が集落を形成したといわれている。地元では「天草なぐれ」と呼ばれていました。あんまりいい言い方ではありません。遠く北海道から水俣川を運んできて、塩化ビニールをつくっていたので、現在は、水銀の採掘は行われず水銀有機物のリサイクル工場があるそうです。もう一つの重要物質であるカーバイド(石灰

水俣の名物はチャンポンです。明治以降、天草地方から水俣に移り住んだ人々により、天草のチャンポンが水俣に定着したそうです。水俣の人はチャンポンにソースをかけて食べます。水俣市内に、何軒かお店があります。ぼくが相思社の方に連れて行ってもらったのは、八幡プールに近い丸島漁港にあるお店でした。ちなみにチソン系の生活協同組合である水光社(関西でいえば、スーパー)のライフのような霧(気)のチャンポンとくらべると、ボリューム、コク、味とも断然おいしかったです。

水俣は、江戸時代までは水俣川を中心に町が広がっていたそうです。が、明治になって人の往来が自由になったこともあり、後に水俣病が多く発生した月浦、湯堂、茂

道に天草からやってきた漁師が集落を形成したといわれている。地元では「天草なぐれ」と呼ばれていました。あんまりいい言い方ではありません。遠く北海道から水俣川を運んできて、塩化ビニールをつくっていたので、現在は、水銀の採掘は行われず水銀有機物のリサイクル工場があるそうです。もう一つの重要物質であるカーバイド(石灰

道に天草からやってきた漁師が集落を形成したといわれている。地元では「天草なぐれ」と呼ばれていました。あんまりいい言い方ではありません。遠く北海道から水俣川を運んできて、塩化ビニールをつくっていたので、現在は、水銀の採掘は行われず水銀有機物のリサイクル工場があるそうです。もう一つの重要物質であるカーバイド(石灰

水俣へ、4回目の旅③ こじまみちお

水銀はどこから来たのか



石は、どこから調達してきたのでしょうか。チソンの前身は「カーバイド協会」と言います。カーバイドの原料の кокос 利用できずに亡くなっ

石は、どこから調達してきたのでしょうか。チソンの前身は「カーバイド協会」と言います。カーバイドの原料の кокос 利用できずに亡くなっ

石は、どこから調達してきたのでしょうか。チソンの前身は「カーバイド協会」と言います。カーバイドの原料の кокос 利用できずに亡くなっ

石は、どこから調達してきたのでしょうか。チソンの前身は「カーバイド協会」と言います。カーバイドの原料の кокос 利用できずに亡くなっ

石は、どこから調達してきたのでしょうか。チソンの前身は「カーバイド協会」と言います。カーバイドの原料の кокос 利用できずに亡くなっ

石は、どこから調達してきたのでしょうか。チソンの前身は「カーバイド協会」と言います。カーバイドの原料の кокос 利用できずに亡くなっ

トガシさんの「沖縄便り」②④

「台湾有事は日本の有事」と煽る人

気が重い日々が続きます。コロナ新規感染者は50名。コロナのためもある。年明けには蔓延防止宣言もという状況です。



感染が爆発しているキャンプ・ハンセン

留米軍が優位にあること。後の廃棄物の処理は日本を、もっと知って欲しい。側面であり、汚した米軍は。交通事故を米兵が起したとき、公務と。明日は元旦。怒りの筆。言えば裁判権はアメリカ。はもう収めたいのです。その場合、ほとんど。が、「台湾有事は日本の有事」と煽っている人がいます。12月24日、沖縄の新聞は一面トップ見出しに「米軍が南西諸島に新たな攻撃拠点 台湾有事で日米共同作戦」と書きました。

「思いやり予算」

来年度の思いやり予算で日米共同作戦」と書きました。21年度の2017億。円より100億円多く米政府と合意しています。

12月28日、県警は、返還されたヤンバルの森に米軍が残留していた演習遺物。遺骨が散乱している様子を。昆虫学者・宮城秋乃が写っています。「本当に戦後沖縄の苦難の道は、

米兵は自由に市街を歩いています。今日も、飲酒運転で捕まっています。この不条理に気付いてくれたと思います。駐

事が埋め立て不承認で一時は奮い立ちましたが、これもコロナで先行き不透明に。12月30日現在、「今回は」米軍基地から

まい・しよっと (21)



(撮影：12月6日、梶)

書写山圓教寺(えんぎょうじ、姫路市書写山)は、966年、性空が開山した古刹。西国三十三所の第二十七番札所であり、西の叡山と呼ばれる。大講堂(本堂)、奥の院、摩尼殿(観音堂)、食堂(じきどう)…と境内は広い。本堂は室町中期の建築、弁慶も修行したとされるが史実の確証はない。ハリウッド映画『ラストサムライ』や、大河ドラマ『武蔵』『軍師官兵衛』などのロケ地としても知られる。

川柳

New yearコロナが襲う基地の島自衛隊が切手になったNew year その通りよー！身売り新聞 座布団5枚 十万人 参院選があるもんね 忘れない最多の患者 知事市長 ヤマセミ

ふざけるな 怒り悲しみ冬の朝 震える日 梅の一枝出番待つ 逆風に飛び散る枯葉目前行く 裸木の影溶け合って言葉なし 珈琲に温められてホットする 握手した手の温もりに勇気わく 万人に鏡は光り照り返し

のなを

本

2011年 3月の福島原発事故後、年代も職業も経歴も立派な「新たな発見、気づき」など、自らが「与えられたものより得られたもの」が大きかった」と、感謝の言葉を飲み込ませてしま

3月の福島原発事故後、年代も職業も経歴も立派な「新たな発見、気づき」など、自らが「与えられたものより得られたもの」が大きかった」と、感謝の言葉を飲み込ませてしま

3月の福島原発事故後、年代も職業も経歴も立派な「新たな発見、気づき」など、自らが「与えられたものより得られたもの」が大きかった」と、感謝の言葉を飲み込ませてしま

3月の福島原発事故後、年代も職業も経歴も立派な「新たな発見、気づき」など、自らが「与えられたものより得られたもの」が大きかった」と、感謝の言葉を飲み込ませてしま

3月の福島原発事故後、年代も職業も経歴も立派な「新たな発見、気づき」など、自らが「与えられたものより得られたもの」が大きかった」と、感謝の言葉を飲み込ませてしま

3月の福島原発事故後、年代も職業も経歴も立派な「新たな発見、気づき」など、自らが「与えられたものより得られたもの」が大きかった」と、感謝の言葉を飲み込ませてしま

3月の福島原発事故後、年代も職業も経歴も立派な「新たな発見、気づき」など、自らが「与えられたものより得られたもの」が大きかった」と、感謝の言葉を飲み込ませてしま

3月の福島原発事故後、年代も職業も経歴も立派な「新たな発見、気づき」など、自らが「与えられたものより得られたもの」が大きかった」と、感謝の言葉を飲み込ませてしま

3月の福島原発事故後、年代も職業も経歴も立派な「新たな発見、気づき」など、自らが「与えられたものより得られたもの」が大きかった」と、感謝の言葉を飲み込ませてしま

3月の福島原発事故後、年代も職業も経歴も立派な「新たな発見、気づき」など、自らが「与えられたものより得られたもの」が大きかった」と、感謝の言葉を飲み込ませてしま



こんど、いつ会える? ほようかんさい 編著 石風社/1600円+税 2021年11月刊

共同の場が紡いだ物語り 『こんど、いつ会える?』

原発事故後の子どもたちと、関西の保養の10年、

「失っていたもの」を取り戻す場ともなり、そこから生まれ「未来」の芽を見つめることが、大切な気がする。「こんな社会であっては絶対にいけない」「何とかしなくちゃ」という思いが、与えられた理念ではなく、リアルな共同生活の中から切実に身に迫ってくる

「お世話した」子どもたちが、成長しボランティアとして帰ってくる場面が、それぞれのキャンプから報告される。お

(石田勝啓)

中塚明さんの話、「日本は朝鮮で何を? 401Kとは、年金で博打させられるのか! 維新の「身を切る改革、競争と自己責任」を多面的、継続的に追及してほしい。(わ)

「問題」に、反省。本の紹介「司法の正義性、世界ランキングだと日本

が、子どもたちも子どもたちの感性で必死に保養キャンプの意味を自分の生き方として、自分の中で反すうしているんだと思う。生まれ変わるドラマ

語りは平易だが、意味深い。単に反原発ではなく、奪われた者と奪う側に加担してしまった者たちが、共同・協働・交流することで、生まれ変わるドラマでもある。そうであるがゆえに、「激しく反原発」とも思える。そういう仲間たちが、一つにつながった結晶(こ

れまた、大きな財産)がこの本である。子どもたちの笑顔(カラーの口絵)がまぶしい。「みんなと過ごす」場の意味を、自分の言葉で語り合う若者たちの座談会はずがすがしい。巻末の資料もわかりやすく読む人の助けになる。